

ゴルフの国内アマチュアラ
ンキング2位の蟬川泰果(東
北福祉大4年)が来季のプロ
転向を見据え、着実に力を付
けている。4月に国内プロツ
アーで優勝争いに加わると、
6月に下部ツアーで優勝。1
日まで行われた日本アマチュ
ア選手権(広島CC八本松)で
は通算12アンダーの3位に終
わったが、ラウンド中の気持
ちの入れ替えがうまくなっ
てきた」と精神面の充実を語る。
日本アマには世界、国内と
もにランク1位の中島啓太
(日体大)が出場しなかった
ため、蟬川は「出場者中、ラ
ンクが最も高いという意地を
見せたい」と臨んだ。最終日
は首位と4打差の3位から出
て、300ヤの飛距離を誇る
ドライバーショットを武器に
終盤に3連続バーディーを奪

蟬川 プロ見据え変化

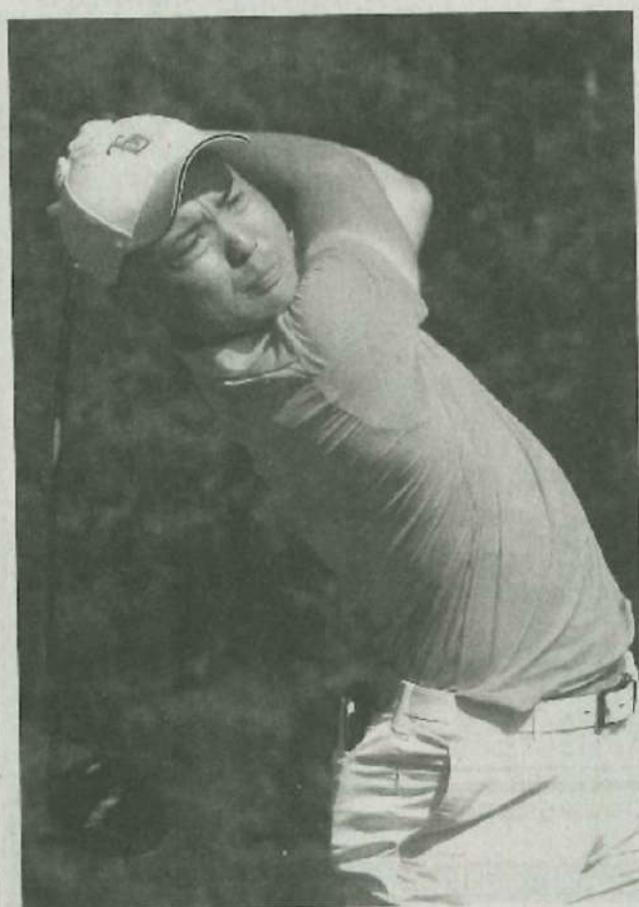
うなど追い上げたが、優勝し
た岡田晃平(東北福祉大3年)
に3打及ばなかった。

兵庫県出身で、大学で主将
を務める蟬川が注目されたの
は4月の関西オープン(兵庫
・よみうりCC)だ。第2日
を終えて首位に立ちながら最
終日に崩れて17位に後退、悔

し涙を流した。当時を「メン
タルがぼろぼろで、ゴルフを
したくなかった」と振り返る。

この経験から「何かを変え
ようと思った。前半から飛ば
すスタイルだったが、我慢し
てパーを積み重ね、バーディ
ーチャンスが来たら仕留めら
れるよう、変わってきた」と

ツアーで悔し涙我慢強く



力強さを増したゴルフでプロ転向を見据える蟬川

明かす。そして、6月中旬に
福岡県で行われた下部ツアー
でアマチュアとして史上5人
目となる優勝。「土壇場でス
コアを伸ばせるゴルフがで
き、プロ相手に勝ち切れたの
は自信になる」と話した。

日本ゴルフ協会のナシヨナ
ルチームに選ばれて戦略面や
栄養面で学ぶことが多く、春
と比べて体は厚みを増した。
1才74で、体重は4キ増えて
75キになった。

下部ツアー優勝を「来年に
向けて職場体験はできた」と
話す蟬川は、「プロは調子が悪
くても予選を通過しないとい
けない。取りこぼしをしない
ゴルフをしないと」と日本ア
マの反省点を挙げる。今後は
大学の試合に出場しながら、
来季ツアーの出場権をかけた
予選会に挑戦する。(高岡学)